

風力エネルギーを財源に地域活性

すつつちょう ～北海道寿都町～



寿都町の概要（H27.9末現在）

- ・人口：3,205人（1,760世帯）
- ・面積：95.24km²
- ・基幹産業：水産業
- ・風車基数：平成27年度現在、11基稼働中（総発電出力：16,580kw）
- ・寿都町では、年間半分以上の日で平均風速6m以上の強風（だし風）が吹き、漁業関係者の悩みの種であった。



○強風を活用した再生可能エネルギーに取り組んだが...

町立中学校への電力供給を目的に、平成元年 自治体初となる風力発電所を中学校のそばに設置。

○寿都発電所（平成元年）
16.5kw×5基

- ・風況が悪かった。
- ・故障が多かった。

低い稼働率
(0.8%)

平成18年：廃止

○寿都発電所の課題を踏まえ事業計画を再検討

- ①発電事業に関する専門的な知識を有する「最適なパートナー（民間事業者）」とタッグ
- ②詳細な風況調査、キャッシュフロー、シミュレーションなどを実施
- ③住民への丁寧な説明

特に住民に対して、説明を行うことで、地域に風車を設置しやすい状況を整備

○風車からの利益を町の地域・環境・産業施策に活用することで地域活性化へとつなげる

稼働中の風力発電所（平成28年3月現在）

- ゆべつのゆ風力発電所（平成11年）：230kw×1基
- 寿の都風力発電所（平成15年）：600kw×3基
- 風太風力発電所（平成19年）：1,990kw×5基（1～5号）
- 風太風力発電所（平成23年）：2,300kw×2基（6～7号）

合計：16,580kw（11基稼働中）
年間発電量：約3,210万kw ⇒ 全量売電

稼働率：20%半ば

※風車の平均稼働率は20%程度

売電収入



風太風力発電所

《山づくり》

漁業の根源である森林保全のため、漁業者が自ら行う植樹活動や森林資源の保全活動、森林環境教育に係る経費の一部に充当

- ・植林・植樹活動
- ・環境維持活動



《まちづくり》

安心で、住みよい住環境の整備と医療体制の確保、子どもたちへの支援等に係る経費の一部に充当

- ・寿都診療所運営資金
- ・医学部進学者への奨学金
- ・通学費補助
- ・街灯電気代補助
- ・水道料金の値下げ



《海づくり》

水産資源の減少に繋がる磯焼け対策等、漁業の活性化のための経費の一部に充当

- ・藻場造成技術の実証実験



○今後の取組

農山漁村再エネ法に基づく基本計画を作成し、地域外の発電事業者による発電機の新設、町営の既設風車の更新を行い、地域合意のもと一層の地域活性化を図る。